

# 地研通信

発行人 茂木 陽一  
編集人 金江 亮  
発行所 三重短期大学  
地域問題研究所  
津市一身田中野157番地  
〒514-0112 電話(059)232-2341

題字 岡本祐次元学長

## 地域問題研究交流集会報告

「地域包括ケア」と担い手の形成 ～地域福祉の視点から考える～

武田 誠一

### 開催の目的

2014年、介護保険制度の根幹にかかわる「改正」が行われ、「地域包括ケアシステム」の構築をめぐって、全国の市町村では様々な取り組みが展開されています。

そのキーワードは「自助・互助」であるとされています。「公助・共助」が“不確実”な中、「自助・互助」の「みなもと」としての地域住民による「支え合い社会」「地域共生社会」の実現が謳われています。こうした中、今回の地域問題交流集会では、担い手としての「地域住民」「福祉事業所」の役割、市町等行政の責任等について、かかわりのあるそれぞれの立場から課題を考えていくことになりました。

### 第54回地域問題研究交流集会

2016年10月30日(日)の午前10時から三重短期大学35番教室において第54回地域問題研究交流集会が開催されました。

「地域包括ケア」と担い手の形成～地域福祉の視点から考える～をテーマに午前の部として、厚生労働省社会・援護局地域福祉課地域福祉専門官の後藤真一郎さんによる基調講演「地域福祉の視点からみた地域包括ケアと求められる専門職の姿」と午後の部のシンポジウム「『地域包括ケア』と担い手の形成」で構成され、高齢・障害・児童福祉関係者、社会福祉協議会職員、行政職員、民生・児童委員、生活困窮関係者やその他関心のある方など約85名が参加しました。

今回の地研通信では午前の基調講演と午後からのシンポジウムの様子をお伝えします。

### 基調講演「地域福祉の視点からみた地域包括ケアと求められる専門職の姿」

講師 厚生労働省社会・援護局地域福祉課地域福祉専門官 後藤真一郎さん

後藤さんは基調講演の冒頭で、これまでの社会保障・社会福祉の政策をふりかえり、現在は社会保障・社会福祉の「統合期」ではないかと提起されました。

そして、その「統合期」において社会保障・社会福祉の担い手として大きく期待されているのは地域住民であると述べ、地域住民が地域の福祉を担っていく上で持つべき視点は良いところを見つけることであると指摘されました。

従来、社会福祉の専門職が持っていた視点が、問題点を指摘することが強かった点への反省として、地域住民が福祉の担い手となるためには、良いところを見つける視点に立つことが重要であると述べられました。

その後、講演では以下の3点のポイントを示し話を進めました。

1. 地域福祉を取り巻く我が国の状況

現在の地域福祉が取り巻く環境を把握するために、現在の日本がどのような環境に置かれているのか、資料を用い解説しました。今後、単身世帯、高齢者単身世帯が増加していく中では、地域での相互扶助機能が低下し、特に高齢者の社会的孤立が深刻化していく懸念など、少子高齢化社会が地域社会に与える影響は大きくなると指摘されました。(図1)

また、高齢者の生活保護受給者の増加が高齢者人口の増加率以上に増えている点を指摘し、地域で困窮している高齢者への対応が必要になっていると指摘されました。(図2)

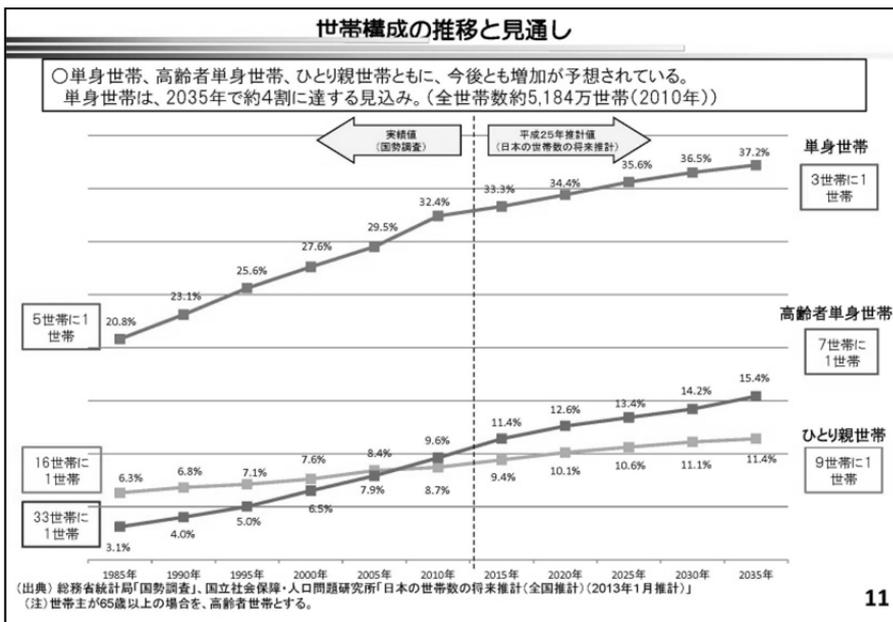


図 1

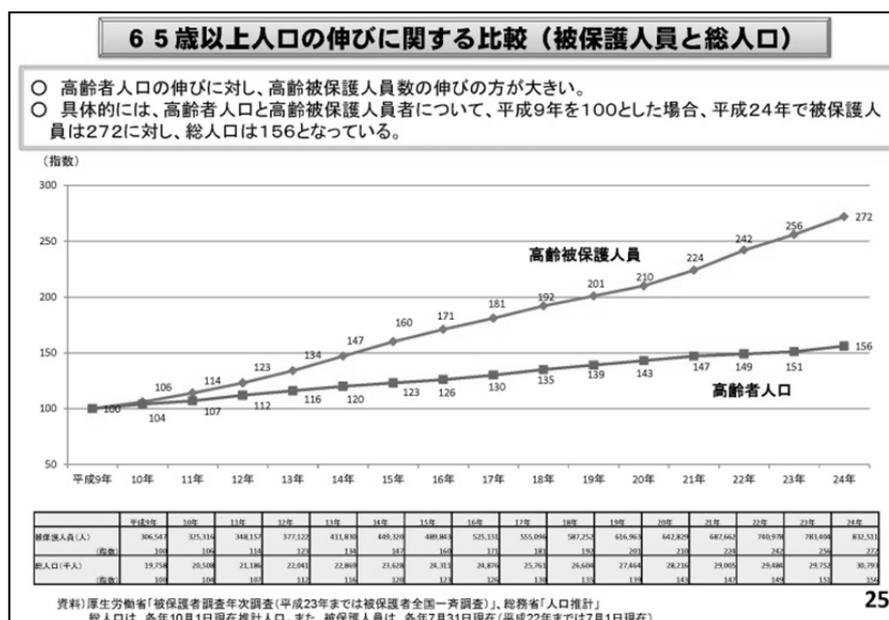


図 2

## 2. 地域共生社会実現に向けた取り組み

地域における課題が深刻化していく中で、それらに対応する仕組みが検討されてきました。（図3）

なかでも、生活困窮者自立支援制度は、経済的な困窮のみならず社会的孤立にも対応する制度であると指摘し、「ゴミ屋敷」問題や「8050」問題などこれまでの制度では十分支援できなかった問題への対応を強化する仕組みであると指摘されました。

しかし、これらの問題のひとつひとつに専門機関、専門職が関わって解決を図っても、問題を抱え潜在化してしまっている他のケースには機能できないと指摘し、そのために地域全体で支え、問題解決を図る仕組みづくりと地域づくりが重要であると述べられました。

また、地域づくりに参加する住民の意識が重要であり、地域の問題を主体的に捉え活動する「我が事」の視点が現在求められていると指摘されました。

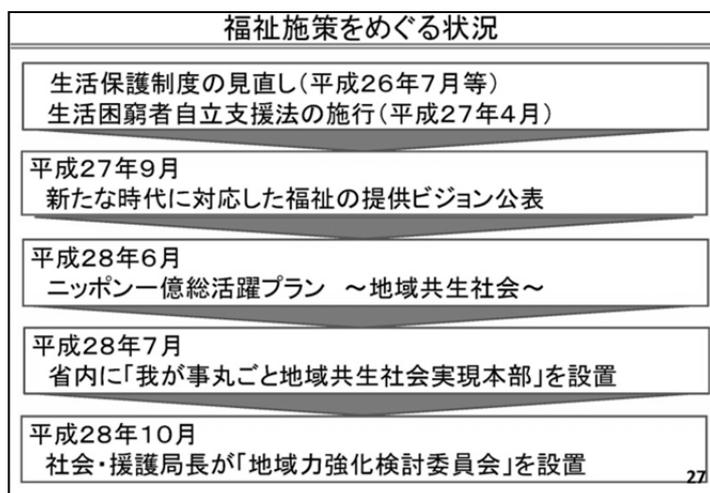


図 3

## 3. 求められる専門職の姿

基調講演を締めくくるにあたり、後藤さんは、「地域包括ケアに向けて、変わるべきは『住民』なのか？」と言う問いを示しました。

そこで、域包括ケアにおける「地域」とは、日常生活圏域を指しており、その日常は生活者が決めるべきことがらで、「包括」とは、丸ごとを意味しており、「ケア」は双方向性、協働性を持っていると述べ、与える、与えられるの関係ではなく循環している点に気づかないと対等な関係を築くことは難しいと指摘されました。

また、今日、あらゆる場面で地域づくりが叫ばれているが、その実情は単なるサービスづくりに陥っていないだろうか指摘されました。かつて社協がホームヘルプサービスを提供した際、サービスを提供したのではなく、ヘルパーが出向き利用者との関係を構築したのではなかったのかと指摘し、地域づくりとは人と人の関係づくりであると述べられました。

後藤さんは、地域福祉に必要なことは「愛」だと述べ、その「愛」について、サン・デグジュベリの言葉を引用し「愛とは、同じ方向を見つめること」、つまり地域においてみんなが同じ方向を向いて取り組むことが重要であると指摘されました。

最後に、ダーウィンの「変化するものが生き残る」という言葉を用い、変わることは大変だがチームで同じ方向を向いて進んでいくことがチャンスに繋がり良い方向に変わることができると指摘されました。

## シンポジウム 「地域包括ケア」と担い手の形成

### シンポジスト

山口尚利さん（津市健康福祉部高齢福祉課長）  
日高利恵さん（津久居地域包括支援センター長）  
谷口里美さん（津市社会福祉協議会地域福祉課）  
倉田 理さん（津市生活支援コーディネーター）

### コーディネーター

中道和久さん（三重県福祉セミナー実行委員会・一般社団法人小規模ケア研究会代表理事）

午後のシンポジウムでは、中道さんをコーディネーターに4人のシンポジストからの報告を受け「地域包括ケア」が何のために、誰のためにあるのかを議論していき、「自助・互助」のあり方、必要とされる「公助・共助」の中身について検討していきました。

### 各シンポジスト報告概要

山口さんは、「津市の高齢者の現状と地域包括ケアシステム」をテーマに津市の高齢化の状況の説明と津市が進めようとしている地域包括ケアシステムの4つの柱「在宅医療介護連携」「認知症対策」「地域ケア会議」「生活支援介護予防」についての説明を行いました。

日高さんは、「地域で取り組む認知症予防」をテーマに、認知症サポーター養成講座をきっかけに、各地で住民主体の集いの場が誕生した経緯についての報告を行いました。

谷口さんは、「津市社会福祉協議会活動」をテーマに社会福祉協議会が取り組んでいる地域づくり、集いの場づくりの実践を報告し、社会福祉協議会の活動は地域を支援のつなげることだと報告を行いました。

倉田さんは、「『地域包括ケア』と担い手の形成」をテーマに、新たに始まる総合事業についての説明と、その中で地域の住民がサービス提供の担い手として期待されている点、住民が主体的に担い手として関わることで地域づくりに結びつくことを指摘しました。

### 討論の概要

各シンポジストの報告を受け、フロアからの質疑応答を中心に議論が展開されました。

地域包括ケアがまだ明確に見えていない中での不安が聞かれる一方、地域の中で私たちがその地域に責任を持って関わっていくことの重要性を認識したとの意見もありました。

最後に、中道さんから担い手とはそれぞれが担い手であり、それぞれが受け手でその役割は自由に入れ替わるものでなければいけない、つまり、住民誰もがその役割を担っている。

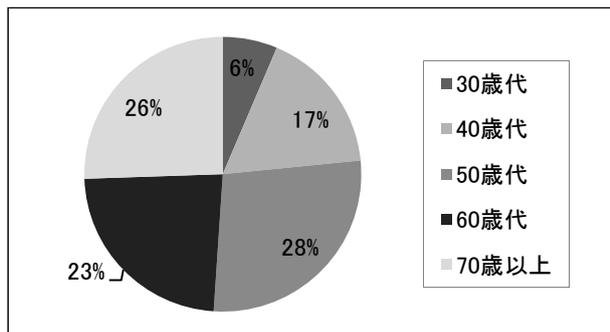
しかし、誰もが主人公であればそれを支える役割は自治体にあるのではないかという発言があり、地域包括ケアの担い手は住民である「互助」であってもそれを支える「公助」が欠かせないというまとめでシンポジウムは終了しました。

### 地域問題研究交流会 アンケート結果

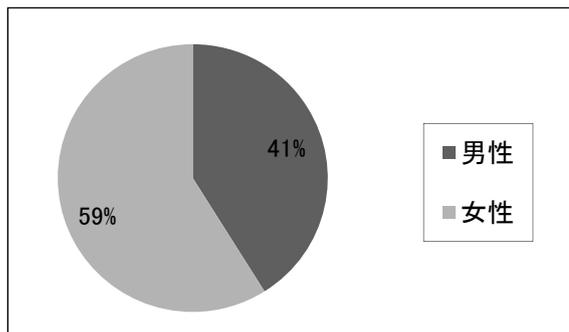
参加者アンケートの結果（56件）では、50歳代以上の方が多く参加しており、男性より女性が多く参加していました。参加者の多くが津市の方でしたが、津市以外にお住まいの方も参加しており、このテーマに対する関心の強さが伺える結果でした。

また、基調講演、シンポジウムについては、多くの方が良かったと評価してくださいました。

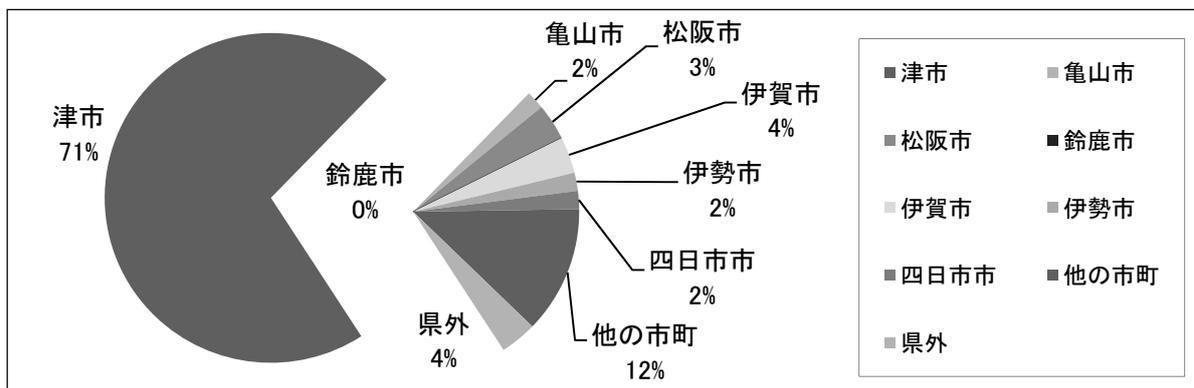
年齢



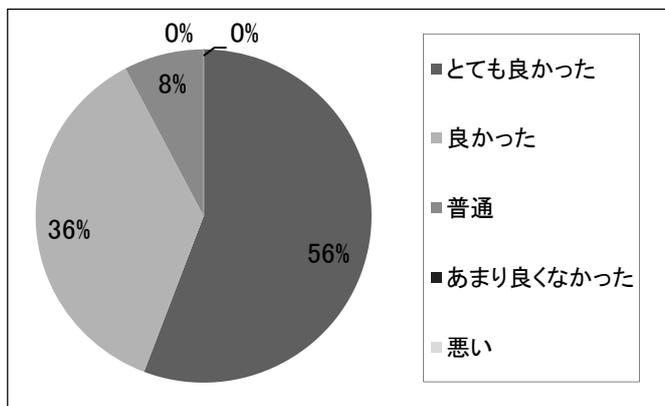
性別



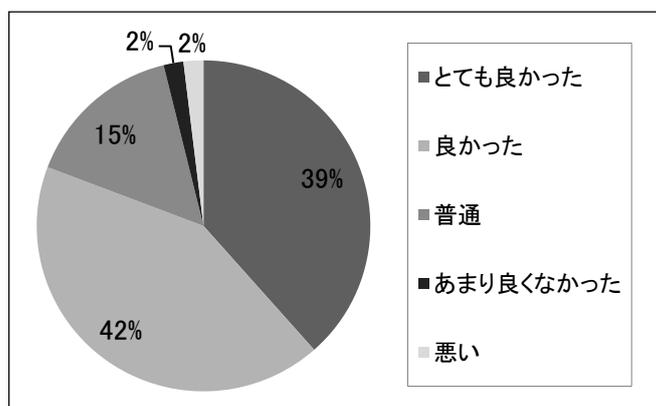
居住地



基調講演について



シンポジウムについて



## 【受入図書一覧】

本研究所で2016年1月以降に受け入れた図書は次の通りです。

登録No.	書名	ISBN/ISSN
7006976	地方財政白書 平成27年版	9784865790061
7006977	情報通信白書 平成27年版	9784865790245
7006978	防災白書 平成27年版	9784865790184
7006979	子供・若者白書 平成27年版	9784865790214
7006980	レジャー白書 2015	9784820120445
7006981	公務員白書 平成27年版	9784865790122
7006982	環境白書/循環型社会白書/生物多様性白書 平成27年版	9784865790092
7006983	観光白書 平成27年版	9784865790290
7006984	国土交通白書 2015	9784865790139
7006985	通商白書 2015	9784906955428
7006986	中小企業白書 2015年版	9784865790221
7006987	男女共同参画白書 平成27年版	9784906955367
7006988	文部科学白書 平成26年度	9784865790283
7006989	余暇・レジャー&観光総合統計 2016-2017	9784865630107
7006990	科学技術白書 平成27年版	9784865790108
7006991	土地白書 平成27年版	9784906955435
7006992	補助金総覧 平成27年度	9784931259096
7006993	中小企業施策総覧	9784864581165
7006994	労働経済白書 平成27年版	9784990572914
7006995	経済財政白書 平成27年版	9784865790313
7006996	厚生労働白書 平成27年版	9784865790351
7006997	警察白書 平成27年版	9784865790160
7006998	伊勢年鑑 2016	9784903816302
7006999	社会保障統計年報 平成27年版	9784865131956
7007000	消費者物価指数年報 平成26年	9784822338428
7007001	全国市町村要覧 平成27年版	9784474052291
7007002	家計調査年報 平成26年 1家計収支編	9784822338459
7007003	保育白書 2015	9784894642270
7007004	地域経済総覧 2016	***
7007005	民力 2015	9784023314344
7007006	子ども白書 2015	9784780712339
7007007	アンケート調査年鑑 2015年版	9784890633319
7007008	生涯学習・社会教育行政必携 平成28年版	9784474052338
7007009	日本労働年鑑 2015年版 第85集	9784845114122
7007010	女性白書 2015	9784593580408
7007011	データでみる県勢 2016	9784875493419
7007012	文部科学統計要覧 平成27年版	9784865790030
7007013	厚生統計要覧 平成26年度	9784875116493
7007014	シローの定理	9784764904781

7007015	初歩からの数論	9784434154478
7007016	復元!江戸時代の長崎	9784888511384
7007017	発達障害に気づかない母親たち	9784569827797
7007018	わが子が発達障害と診断されたら	9784799100448
7007019	女性ホームレスとして生きる	9784790715931
7007020	「育てにくい子」と感じたときに読む本	9784072620946
7007021	「ギフトッド」天才の育て方	9784054041646
7007022	マンガでわかる世界の宗教	9784800238580
7007023	感情労働としての介護労働	9784845113613
7007024	親子で乗り越える思春期の発達障害	9784309247458
7007025	厚生労働白書 平成 27 年版	9784865790351
7007026	日本都市年鑑 2015 Vol.73	9784474053588
7007027	文部科学法令要覧 平成 2 8 年版	9784324100882
7007028	日本子ども資料年鑑 2016	9784877583767
7007029	統計でみる都道府県のすがた	9784822337896
7007030	家計調査年報 平成 26 年 2 貯蓄・負債編	9784822338558
7007031	国際人権 2014 年報 第 25 号	9784797226942
7007032	学校基本調査報告書：初等中等教育機関 専修学校・各種学校編 平成 27 年度	9784865790375
7007033	学校基本調査報告書：高等教育機関 平成 27 年度	9784865790382
7007034	女性労働の分析 2014	9784915811715
7007035	社会福祉の動向 2016	9784805852903
7007036	ジェトロ世界貿易投資報告 2015 年版	9784822411534
7007037	保険と年金の動向 2015/2016 Vol.62 No.14	***
7007038	地方交付税制度解説 平成 27 年度:補正係数・基準財政収入額篇	***
7007039	行政機構図 平成 27 年度版	***
7007040	改正地方財政詳解 平成 27 年度	***
7007041	教職教養憲法 15 話[改訂三版]	9784779304828
7007042	治ってますか?発達障害	9784907725945
7007043	東京都政：明日への検証	9784004308256
7007044	消費税をどうするか：再分配と負担の視点から	9784004312048
7007045	SNA がわかる経済統計学	464112194X
7007046	分権型税制の視点	4324074216
7007047	自治・議会基本条例論：自治体運営の先端を拓く	9784875555445
7007048	財投改革の虚と実	9784492620670
7007049	新地方自治入門：行政の現在と未来	4788703629
7007050	公益とは何か	4846003876
7007051	入門公共選択：政治の経済学	4326550481
7007052	地方財政対策と地方交付税	***
7007053	新公益法人制度はやわかり：新制度のもたらす影響と市民社会 の課題	9784906173464
7007054	市民と自治体の協働研修ハンドブック	9784875555278
7007055	議会基本条例の展開：その後の栗山町議会を検証する	9784875555322
7007056	「政策財務」の考え方：自治体を「倒産」させないために	4875554680
7007057	市場と向き合う自治体	9784875555285

7007058	シビル・ミニマム再考：ベンチマークとマニフェスト	4875553838
7007059	自治体の政策形成力	4875553897
7007060	栗山町発・議会基本条例	4875554826
7007061	市民自治の制度開発の課題：自治のルールと自治体法務	4875554710
7007062	地方政府と政策法務：市民・自治体職員のための基本テキスト	9784875555247
7007063	政策財務と地方政府：市民・自治体職員のための基本テキスト	9784875555292
7007064	自治体財政はわかり：予算・決算、バランスシートから行政評価の作成まで	4872992776
7007065	地方財政改革	4324073333
7007066	21世紀を展望した税制改革	4419011890
7007067	新公益法人制度の組織再編ガイダンス	9784502955808
7007068	地方交付税	4324056536
7007069	新地方公会計の実務	9784886141729
7007070	新しい地方自治制度の設計：「規模の利益」か「小さい自治の連合」か	4880374415
7007071	「構造改革」と自治体再編：平成の大合併・地方自治のゆくえ	4880373842
7007072	地方分権	4000260332
7007073	検証判例・裁決例等からみた消費税における判断基準	4502935700
7007074	「自治体憲法」創出の地平と課題	9784875555421
7007075	テキストブック地方自治	9784492211595
7007076	公会計の基礎知識：各国基準と国際公会計基準	9784903059105
7007077	地方財政システム論	9784641183599
7007078	現代日本地方財政史 下巻：「転換期」の地方財政と制度改革	***
7007079	日本経済の環境変化と労働市場	9784492394441
7007080	社会保障財源の効果分析	9784130511292
7007081	現代日本経済研究	4130400738
7007082	空間価値論：都市開発と地価の構造	432670019X
7007083	地方分権と行財政改革	4794804393
7007084	市民社会民主主義への挑戦	4818818070
7007085	国債の歴史：金利に凝縮された過去と未来	4492620621
7007086	近代日本教育費政策史	4326250496
7007087	非営利団体の経済分析	4811533518
7007088	地方財政の研究	4419032057
7007089	財政赤字と日本経済：財政健全化への理論と政策	4641162344
7007090	ノンプロフィット・エコノミー：NPOとフィランソロピーの経済学	4535550891

#### 編集後記

今回は地域包括ケアについて、武田先生に担当頂きました。シンポジウムでも活発なやりとりがなされ、その概要が収録されています。これからの高齢化社会の進展とともに、地域包括ケアは、ますます重要性を増しています。参加者のアンケートなども興味深く、参考にして頂ければ幸いです。

(RK)